

第一回ぶらっと再生☆田舎をみつと

2008年6月15日(日)開催

場所：南牧村活性化センター

群馬県甘楽郡南牧村大字磐戸207番地

イベント内容

午前中 <イベント広場>
なんでも持ち寄り販売 OK
地元野菜の即売会
絵画展・写真展を開催予定

13:00 <オープニング>
だんべえ踊り (友情出演)
ビデオクラブ紹介
南牧村台風災害時ビデオ上映
「こんな酷い災害に見舞われ怖い思いをしたのはなぜ？
生の声を聞き歩き、災害の実態を撮影」



14:00 <講演>
群馬大学 騎銅教授 「災害のメカニズム」
南牧村の土石流災害についての研究。学会でも発表されています。
群馬大学 岩崎客員教授 「今後の地域再生について」
高崎経済大学 山崎益吉・愛子ご夫妻「南牧村と関わって」

16:00 <映画上映>
記録映画「いのちの作法」
- 沢内・生命行政を語り継ぐ者たち -
岩手県の山間の小さな町・西和賀町のドキュメンタリー映画

全国にて開催されている上映会を南牧村でやっていただけることとなりました！

映画公式 web サイト <http://nishiwaga-film.main.jp>
「生命が粗末にされている今の時代にふさわしい映画を作りたい」という
思いで取り組んできた記録映画「いのちの作法」には、障害者や老人、
児童養護施設の子どもの命に向き合う様々な人々が登場します。
その人々の言葉が、胸を捉えます。
「人の痛みを知らないと、人にはなれない」、「ごめんなさいとありがとう。
その言葉を言えれば生きていける」。珠玉の言葉が並びます。
地域で生活するごく普通の人々が、こうした哲学を持って生きているのです。
私達スタッフには驚きと感動の毎日でした。
そして今、私達は「いのちの作法」という地方から生まれた映画が、
中央を超えたと自負しています。」(公式 HP より)



18:00 <座談会>
ぶらっと交流会 (日刊ブログぶらっと新聞協力)
「いのちの作法」を作成した日本映画学校の映画監督、
大学の先生方を交えて、車座対話を実施

実際に関わった日本映画学校の映画監督などの舞台挨拶、上映前に生の声が聴けます。
映画を観て、講演を聴いて、上映後、車座対話を実施したいと考えています。

災害ばかりでなく、雇用創出につながるかもしれない話など。
今の田舎の置かれた状態、今後のこと、何とか雇用が生まれる社会にしたい。
このままではお年寄りが多く、生きてゆけなくなる現実が待っています。
ここばかりではない全国の限界集落的過疎地域の置かれている立場を理解して欲しいとの企画です。

主催 / 南牧ビデオクラブ 後援 / 群馬県・南牧村・南牧教育委員会・なんもくふれあいテレビ
協力 / 群馬大学教授 日本映画学校関係者「ぶらっと」関係者その他大勢
お問い合わせ：0274-87-2614